

坂井市農業集落排水事業 経営戦略

令和3年3月

福井県坂井市

①事業概要

1. 坂井市の概要

坂井市は福井県の北部に位置し、南北約17km、東西約32kmにおよび東西に長い行政区域で、総面積約210km²で、平成18年3月20日に坂井郡の三国町・丸岡町・春江町・坂井町、4町が合併して誕生しました。

市の南部を九頭竜川が、東部の森林地域を源流とする竹田川が北部を流れ、西部で合流し日本海に注ぎ込んでいます。中部には福井県随一の穀倉地帯である広大な坂井平野が広がり、西部には砂丘地および丘陵地が広がっています。

土地利用を地目別にみると、田畑が約34パーセント、山林が約30パーセントを占めており、豊かな自然環境に恵まれています。

道路網は、東部に北陸自動車道・丸岡インターチェンジや国道364号、西部に国道305号、中部に国道8号、主要地方道福井金津線（嶺北縦貫線）および主要地方道福井加賀線（芦原街道）が走るなど、主要な基幹道路が南北方向を中心に発達しています。また、鉄道網も市の中央を南北に走り、JR北陸本線が2駅、えちぜん鉄道三国芦原線が9駅設置されています。

2. 坂井市全体と竹田地区の人口

平成18年合併時95,300人いた人口も、令和元年12月末で91,458人と減少し、農業集落排水区域の竹田地区も468人から314人と減少し、公共下水道と比べ過疎化が大きく進行しています。人口減少社会の到来を受け、今後も人口減少が続くと考えられます。

3. 農業集落排水の概要

平成9年に農業集落排水事業竹田地区事業採択を受け、整備事業に着手し、平成13年10月に計画人口1,380人、計画汚水量日平均372m³処理方式連続流入間欠ばっ気式による処理施設の供用を開始しました。（管路延長7,008m、中継ポンプ場7ヶ所）

4. 水洗化率と有収率

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
整備区域内人口	399	378	371	359	343	326	307
水洗化人口	300	311	314	301	288	293	278
水洗化率(%)	75.19	82.28	84.64	83.84	83.97	89.88	90.55
有収率(%)	83.27	84.77	81.65	84.64	97.07	92.57	98.77

②農業集落排水施設使用料

農業集落排水施設使用料は、利用者からの使用料で負担することとされていますが、農業集落排水施設使用料だけで経費を負担することは出来ないため、一般会計からの繰入金を補填しています。

坂井市農業集落排水施設使用料は、公共下水道と同一料金で運営していますが、区域内人口が減少する中、水洗化率は90%以上と高いものの、使用料収入は減少していきます。

農業集落排水施設使用料収入及び有収水量 (税込)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
使用料(円)	6,434,504	6,980,635	6,199,085	6,316,414	7,393,241	6,962,232	6,884,611
有収水量(千m ³)	43,633	47,307	42,145	42,668	48,848	45,968	45,685
使用料単価(円/m ³)	147.47	147.56	147.09	148.04	151.35	151.46	150.70

農業集落排水施設使用料 (税抜)

汚水の種類	基本料金		超過料金	
	排除量	使用料	排除量	使用料 (1m ³ 当たり)
一般汚水	10m ³ まで	1,100円	11~30m ³	120円
			31~50m ³	130円
			51~100m ³	150円
			101m ³ 以上	170円

③職員数と運営体制

坂井市上下水道課は、平成27年4月から始まった包括的業務委託を契機に3課（総務経理課・整備課・維持課）体制から1課体制に統合し、水道部から建設部に移管しました。職員数も削減し、経費の削減に取り組んでいます。

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
職員数	30	30	27	20	18	17	18

※上記数は水道・下水道・集落排水の3会計業務にかかる全体の数です。

④民間活力の活用

処理場やマンホールポンプ等の施設にかかる管理業務及び水質検査等については民間に委託しています。

⑤経営の基本方針

高齢化や人口減少等により、今後、農業集落排水施設使用料が減少していくと予想され、大変厳しい状況となっていますが、河川等の水質悪化を防止し、豊かな自然環境を維持するため、効率的で健全な経営に努めてまいります。

同施設は1地区のみの排水を処理していますが、供用開始以来18年が経過し、機械設備の修繕等も年々増加傾向にあります。公共下水道との統合も検討しましたが、地形や接続距離（4キロ）を考えると費用対効果の面で実現は困難な状況であります。

施設・機器等は比較的良好な状態であり、令和2年度からの10年間は大規模な更新工事を行わない方針を踏まえつつ、持続可能な下水道事業実現のため、中長期的な経営の基本計画である経営戦略を策定します。

⑥経営比較分析表を活用した現状分析

経営比較分析表（平成30年度決算）

福井県 坂井市

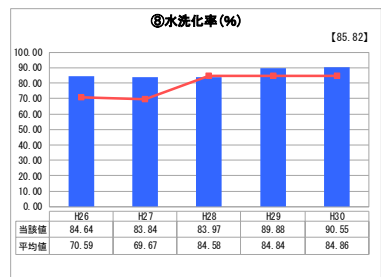
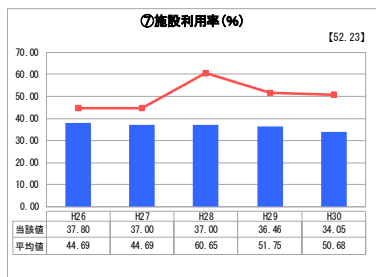
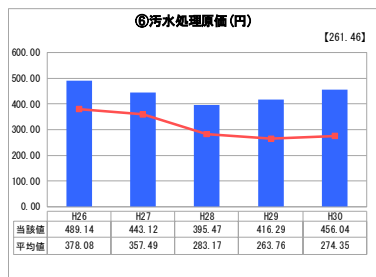
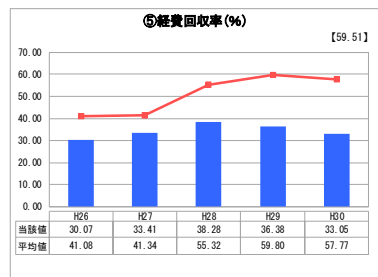
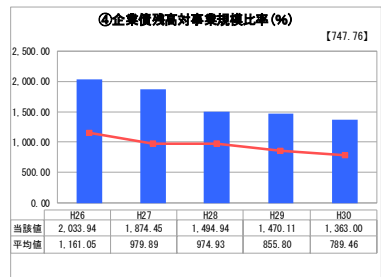
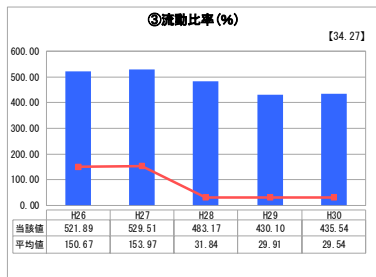
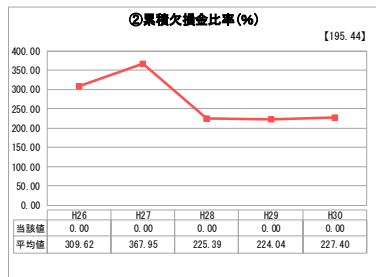
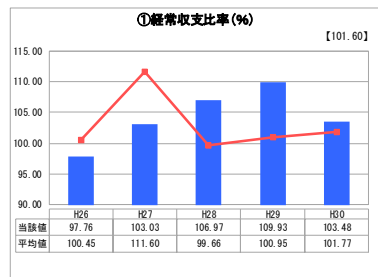
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり定額料金(円)
-	77.71	0.34	98.77	2,484

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
92,004	209.67	438.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
307	0.38	807.89

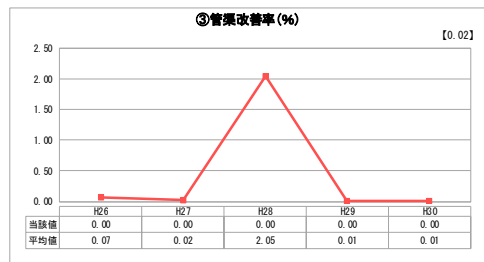
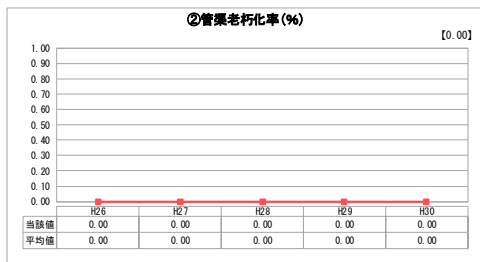
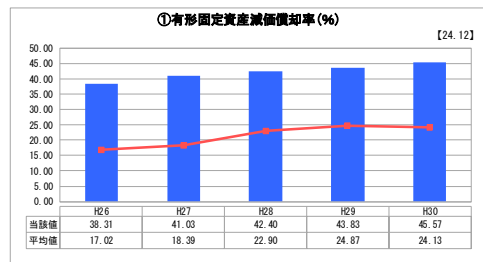
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は修繕費等の増加に伴い、前年度より微減したものの、H27年度から連続して100%以上を維持しており、また②累積欠損金比率についても0%を持續できているためこれらを継続していきたい。⑤経費回収率については、依然として低い数値となっており、使用料収入では経費を賚せず、一般会計からの繰入金により収支の均衡を保っている。農業集落排水地域の丸岡町竹田地区は人口減少が進み、それに伴い使用料収入も減り続ける一方である。⑥汚水処理原価についても類似団体の平均値と比較すると高くなっており、人口減少や地理的な部分も含めて、より最適な処理方法を検討する必要がある。また、③流動比率は全国平均と比べても大きく上回っており、安定的であると言えるため、保持していきたい。④企業債残高対事業規模比率は、類似団体や全国平均値よりも非常に高い数値になっているが、近年企業債の借入は行っておらず、現在借り入れる予定もしていないため、企業債残高に関しては減少していく。

⑦施設利用率は全国平均値と比べると低い数値となっており、将来を見据えても人口減少が進んでいくと思われるため、それに伴い、施設の遊休状態も増えてしまう。より適切な施設規模を維持する必要がある。

⑧水洗化率については年々微増しているものの、新規接続はほとんどなく、地理的要因から人口の増加は見込めない地域である。それでも90%は超えているため、引き続き接続推進に努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は45.57%となっており、類似団体平均、全国平均値と比較して高い数値となっている。②管渠老朽化率及び③管渠改善率は共に0%であり、法定耐用年数を超過した管渠はない。処理場施設に関しては老朽化が進んでいるため、今後も将来を見据えて処理場施設、管渠も含めて計画的に更新していく必要がある。そのための財源の確保や更新計画の見直しについて準備していきたい。

全体総括

坂井市の農業集落排水事業は規模が小さく、人口も年々減少しているため、維持管理費等の必要経費を使用料のみで賚うことは難しく、現在は一般会計からの繰入金により経営を保っていると言える。令和2年度には経営戦略策定を予定しており、下水道使用料の料金改定も視野に入れつつ、現在よりも安定した事業を目指したい。また、将来的には処理場施設や管渠の老朽化が進む中で財政計画や更新計画の確認等を随時行っていきたい。可能な限りの経営改善、健全な経営状況を目指し、他自治体の先進的な取り組みなど実際に行っている経営努力を参考にしていきたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

農業集落排水事業の経営は、処理を行う規模や地理的条件などにより様々であるため、他団体との比較は困難ではあるが、それぞれの下水道事業を基礎的な条件により類似化することにより、類似団体との比較分析が可能であります。総務省ホームページにある類似団体との比較や全国平均との比較検討することにより、問題点や特殊性を明らかにし、経営戦略に活かしていきます。

本市農業集落排水事業は、経営比較分析表において、経常収支比率が100%を上回っているが、経費回収率は100%を大きく下回っており、一般会計の繰入金に依存していることが分かる。また、汚水処理原価は類似団体の平均値と比較すると高く、人口減少による分母の有収水量が減少していることが、高コストの原因となっている。

また、施設利用率も類似団体平均と比べ低く、数値的には40%割り込む低い数値で過大な処理能力の施設といえる。

一方、施設の老朽化についてしてみると、有形固定資産原価償却率は類似団体平均値を上回っているものの、50%以下で早急な対応は不要である。また、管渠においても耐用年数を超えたものは無く、まだ数年は0%を維持できる。

将来の課題としては、汚水処理原価を下げるため、処理費削減策を検討しなければならない。

⑦投資・財政計画

計画的な投資計画

農業集落排水施設が保有する下水道資産全体を把握することにより、中長期的投資計画の見通しが可能となり、施設状況を客観的に把握・評価・予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的し、持続可能な事業を実施していきます。

また、日頃のメンテナンスを十分に行い、施設の長寿命化に努め、耐用年数を超えた施設の更新の際は、更新費用の平準化を考慮していきます。

⑧今後の経営戦略の進捗・検証

- ・経営戦略策定後は進捗状況を「計画策定→実施→検証→見直し」のサイクルを活用して管理していきます。
- ・市政広報、ホームページ等を通じ、経営に関する情報を発信していきます。

投資・財政計画(収支計画)

項目	単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
処理区域内人口	人	291	277	264	250	242	235	226	215	211	208	204	200	
水洗化人口	人	265	254	241	230	224	217	207	201	199	198	197	196	
水洗化率	%	91.07	91.70	91.29	92.00	92.56	92.34	91.59	93.49	94.31	95.19	96.57	98.00	
収入	農集使用料	千円	6,920	6,811	6,686	6,322	6,114	5,744	5,511	5,237	4,941	4,722	4,501	4,410
	その他営業収益等	千円	6	6	12	6	17	6	0	0	0	17	0	0
	他会計繰入金	千円	20,000	20,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
	その他営業外収益	千円	5,867	6,627	6,720	6,379	6,333	6,352	5,592	5,591	5,516	5,516	5,516	5,516
	収益的収入計	千円	32,793	33,444	31,418	30,707	30,464	30,102	29,103	28,828	28,457	28,255	28,017	27,926
	起債借入	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受益者分担金	千円	0	0	0	0	100	0	0	0	0	100	0	0
	国・県補助金	千円	3,278	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資本的収入計	千円	3,278	0	0	0	100	0	0	0	0	100	0	0
	収入総合計	千円	36,071	33,444	31,418	30,707	30,564	30,102	29,103	28,828	28,457	28,355	28,017	27,926
支出	維持管理費	千円	28,982	31,762	34,245	32,702	36,436	33,062	30,373	31,003	32,698	32,548	31,301	30,689
	うち修繕費	千円	1,573	1,950	2,900	1,950	5,700	2,650	950	1,600	3,250	3,100	1,950	1,600
	うち委託料	千円	9,366	9,605	9,605	9,605	9,605	9,605	9,605	9,605	9,605	9,605	9,605	9,605
	企業債利息	千円	1,708	1,547	1,384	1,217	1,047	873	697	518	346	200	89	27
	収益的支出計	千円	30,690	33,309	35,629	33,919	37,483	33,935	31,070	31,521	33,044	32,748	31,390	30,716
	建設改良費	千円	5,418	2,600	-	800	850	2,800	3,150	2,900	3,000	400	-	2,500
	企業債償還金(元金)	千円	8,589	8,750	8,914	9,080	9,251	9,424	9,600	9,570	8,150	6,795	3,411	2,345
	資本的支出計	千円	14,007	11,350	8,914	9,880	10,101	12,224	12,750	12,470	11,150	7,195	3,411	4,845
	支出総合計	千円	44,697	44,659	44,543	43,799	47,584	46,159	43,820	43,991	44,194	39,943	34,801	35,561
起債残高	千円	85,417	76,667	67,753	58,673	49,422	39,998	30,398	20,828	12,678	5,883	2,472	127	